

‘第9回’

日本在宅救急医学会学術集会

The 9th Annual Meeting of Japan Society for Homecare and Emergency Medicine

地域包括ケアを推進する在宅救急



会 期 2025年11月1日 土

会 場 公立小松大学 中央第2キャンパス

(ウレシヤス小松 4 階 2025 年 10 月竣工予定)

会 長 仲井 培雄

医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 理事長 / 一般社団法人 地域包括ケア推進病棟協会 会長

「乗りもののまち・こまつ」でお会いしましょう！



在宅 + 救急が地域包括ケアを推進する！

2025 年は、「地域包括ケアシステムの構築」と「地域医療構想の実現」に取り組んできた最初のゴールの年となります。地域医療構想について、病床機能報告上の病床数は、合計数及び高度急性期・急性期・回復期・慢性期それぞれにおいて 2025 年の必要量に近づき、病床機能の分化・連携は少しずつ進んでいます。

一方で、医療機関を取り巻く状況は厳しさを増し、予想以上に病床利用率が低迷して、経営状態が悪化しています。都会・地方を問わない医師不足と診療科のミスマッチ、看護師等の職員不足に加えて、人口減少と新型コロナウイルス感染症パンデミックの経験による患者受療行動の変化があげられます。これに、賃上げ改定への対応、高額薬剤の増加、光熱費・諸物価の高騰が追い打ちをかけています。

更に、2024 年1月の能登半島地震では、人口減少社会における災害後のインフラ再建に直面しました。2025 年2月末には、奥能登の公立4病院を新病院に機能を集約し、4病院はサテライトにする方針を石川県が素案としてまとめました。生産年齢人口も高齢者人口も減少する地方では、病床機能の分化・連携が加速すると予想されます。

ひるがえって、大都市、地方都市・過疎地を問わず、高度急性期・急性期機能の集約化が進む中、残された中小病院は地域でどんな存在意義を示すのか、新たな地域医療構想等に関する検討会においても、議論の中心となっています。

その答えの一つが、在宅医療と救急医療を有機的に連動させ、地域包括ケアを現場で推進する役割を担うことだと考えます。文字通り地域包括ケアを支える地域包括ケア病棟や、高齢者救急に特化した地域包括医療病棟をどう活用するのか。どのように DX を成し遂げるのか。かかりつけ医機能報告制度どのように推進するのか。ACP やリハビリテーション・栄養・口腔の一体的取り組みをどう展開するのか等、2026 年度診療報酬改定を控えて沢山の課題があります。

本学術集会は、上記課題を解決するヒントを得るために、シンポジウムやパネルディスカッション、ランチョンセミナーを企画しました。また、地域包括ケアを推進する上で、在宅救急を担う人材の確保・育成は最も重要です。そのため、医師をはじめとした多くの専門職や学生が集い、議論のできる“学びの場”を創造したいと考えて、会場は大学のキャンパスを選びました。お力添え頂いた公立小松大学は JR 小松駅に隣接しており、小松空港や北陸自動車道からもアクセスがよく、JR 金沢駅も新幹線で約 10 分と利便性が高い場所です。訪れたいくなる有名観光地もたくさんあり、日本海と白山の幸も堪能できる機会を逃すことなく、学びの前後に体験頂ければ幸甚です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 会 期

2025 年 11 月 1 日（土）
- 場 所

公立小松大学 中央第2キャンパス
（ウレシヤス小松 4 階 2025 年 10 月竣工予定、JR 小松駅より徒歩 1 分）
※工事進捗等により、中央キャンパス（こまつアズスクエア 2・3 階）に開催場所が変更になることがあります
- 会 長

仲井培雄（医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 理事長、一般社団法人 地域包括ケア推進病棟協会 会長）
- 副会長

宮崎俊聡（特定医療法人 扇翔会 南ヶ丘病院 理事長）
菊地 勤（医療法人社団 博友会 金沢西病院 理事長・院長）
- テーマ

『 地域包括ケアを推進する在宅救急 』

参加費	事前登録		当日参加	
	医 師		10,000 円	
	その他の医療従事者		5,000 円	
	学生（医学生、看護学生等） 演者・座長（非学会員）		無 料	



プログラム（予定）

会場 1	
9:00 9:15	●開会式
9:15 10:00	●基調講演「今後を見据えた地域包括医療・ケア病棟の役割（仮）」 座長：日本在宅救急医学会代表理事、日本体育大学名誉教授 横田裕行 演者：厚生労働省保険局医療課長 林修一郎
10:10 12:00	●シンポジウム 1「地域包括ケア・医療病棟の在宅救急」 座長：第 9 回学術集会会長・地域包括ケア推進病棟協会 会長 仲井培雄 自治医科大学附属さいたま医療センター 救命救急センター センター長・教授 守谷俊 1. 社会医療法人水光会 宗像水光会病院 理事長 津留英智 2. 調布東山病院 理事長 小川聡子 3. 尼崎医療生協病院 院長 大澤芳清 4. 医療法人池慶会 池端病院 理事長・院長 池端幸彦
12:00 ~ 13:00 昼休憩	
13:00 14:50	●パネルディスカッション 1「在宅救急の DX」 座長：日本病院 DX 推進協会 代表理事、HITO 病院 理事長 石川賀代 金沢大学医薬保健研究域 医学系 救急・災害医学分野 教授・ 石川県救命救急研究会 事務局長 岡島正樹 1. 基調講演 標準型電子カルテ検討ワーキンググループ構成員・地ケア病棟、 回リハ病棟社会医療法人 高橋病院 理事長 高橋肇 2. 日本病院 DX 推進協会 代表理事、HITO 病院 理事長 石川賀代 3. 医療法人社団悠翔会 理事長 佐々木淳 4. 日本在宅救急医学会代表理事、日本体育大学名誉教授 横田裕行
14:50 ~ 15:00 休憩	
15:00 16:50	●シンポジウム 2「かかりつけ医機能と在宅救急」 座長：医療法人社団いばらき会 理事長 照沼秀也 医療法人社団下田緑真会 世田谷北部病院 理事長 下田重人 1. 基調講演 かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に関する分科会 構成員、 日本プライマリ・ケア連合学会 副理事長、 医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック院長 大橋博樹 2. 医療法人青燈会 小豆畑病院 理事長 小豆畑丈夫 3. 医療法人社団いばらき会 いばらき診療所とうかい 院長 津本順史 4. 小松市医師会会長、医療法人社団恵仁会 恵仁クリニック 院長 村井裕

会場 2・3 のプログラムは次ページ



プログラム（予定）

会場 2

12:10

|

12:50

●ランチョンセミナー 1「在宅生活における急変時対応」

座長：医療法人社団つくし会 新田クリニック 理事長 新田國夫

演者：公立小松大学保健医療学部 学部長 徳田真由美

●ランチョンセミナー 2「総合内科医による大腿骨近位部骨折のコマネジメント」

座長：独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院 副院長 真弓俊彦

演者：社会医療法人愛仁会 高槻病院 総合内科 恒光綾子

会場 3

9:15

|

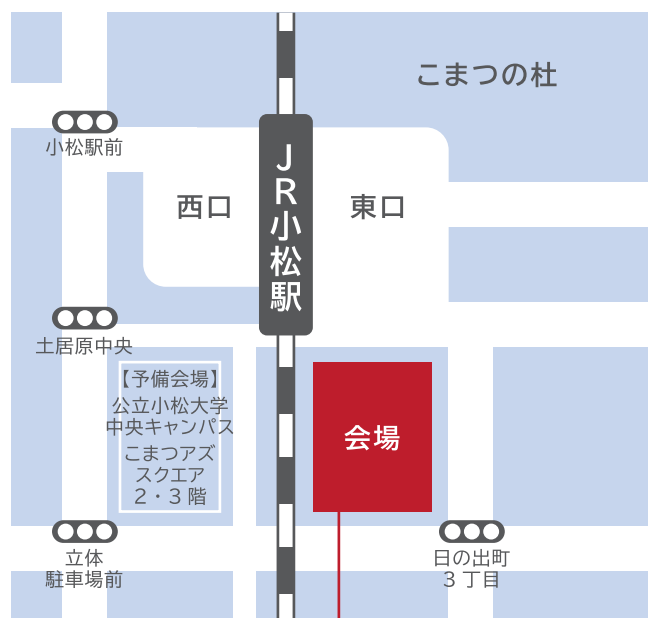
17:00

●企業展示

後 援

- ・小松市
- ・石川県医師会
- ・石川県看護協会
- ・石川県病院協会
- ・石川県慢性期医療協会
- ・石川県救命救急研究会
- ・小松市医師会
- ・能美市医師会
- ・公立小松大学
- ・一般社団法人 日本慢性期医療協会
- ・一般社団法人 日本地域医療学会
- ・一般社団法人 地域包括ケア推進病棟協会

会場周辺マップ



公立小松大学
中央第2キャンパス
「ウレシヤス小松 4階」



学術集会のウェブサイトはこちら
zaitakuqq9.jp/